

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場会社名 古河スカイ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5741 URL <http://www.furukawa-sky.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉原 正照

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 長谷川 久

TEL 03-5295-3800(代)

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	85,381	△36.0	△5,739	—	△6,435	—	△8,453	—
21年3月期第2四半期	133,389	7.6	5,508	△15.4	4,733	△15.6	2,577	△18.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△37.22	—
21年3月期第2四半期	11.35	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	184,949	49,822	26.7	217.06
21年3月期	193,644	56,690	28.4	242.34

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 49,293百万円 21年3月期 55,036百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	2.00	6.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

22年3月期の期末および合計の配当金額は未定であります。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	△23.5	△2,100	—	△3,600	—	△5,800	—	△25.54

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 227,100,000株 21年3月期 227,100,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 12,107株 21年3月期 1,994株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 227,092,227株 21年3月期第2四半期 227,098,822株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 配当金額は、業績動向を見極めつつ検討することとしております。当期の期末の配当予想額につきましては、業績の状況や経営環境の先行きが不透明であることから、未定としております。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く我が国経済の環境は、自動車、電機等主要業種を中心に回復傾向にあるものの、昨年度後半以降の米国経済減速や金融危機の影響が残り、設備投資の回復が見られないなど経済活動としては依然として低い水準が続きました。

アルミニウム圧延業界においては、主要製品である飲料用缶材は、夏場の天候不順の影響により前年同期比マイナスとなりました。また、自動車、電機、卸・小売等大半の分野において落ち込みが大きく、圧延品需要全体では前年同期比で2割を超える減少となり、昭和61年以来23年ぶりの90万トン割れとなりました。

このような環境のもと当社グループにおいては、当第2四半期連結累計期間において、自動車及び電機関連など一部品種に下げ止まり感が現れていますが、天候不順の影響により飲料用缶材は微減となり、また液晶・半導体製造装置向け等の厚板や一般汎用材など設備投資に関係する分野は回復が遅れており、全体の販売数量は前年同期比で約25%減となりました。

損益面では、原材料費の削減、製品歩留まりの向上のコスト削減活動や人員の効率的な配置転換等の合理化策、更には固定費の削減をはじめとした諸施策を実行するなど収益改善策に鋭意取り組んでまいりましたが、上述の各種製品の売上数量減少に加え、地金ポジションの好転が当初見込みより遅れるなど、引き続き厳しい事業環境となりました。

なお、経済環境の変化などへの柔軟な対応を図り、強固な収益体制を確立することを目的に、板圧延事業の構造改革を進めております。これに伴う設備廃棄や遊休化などに係る事業構造改善費用を、当第2四半期決算において特別損失として2,018百万円計上いたしました。

以上の結果、第2四半期連結累計期間の売上高は85,381百万円（前年同四半期比36.0%減）、営業損失は5,739百万円（前年同四半期は営業利益5,508百万円）、経常損失は6,435百万円（前年同四半期は経常利益4,733百万円）、四半期純損失は8,453百万円（前年同四半期は四半期純利益2,577百万円）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計につきましては184,949百万円となり、前連結会計年度比8,695百万円減少しています。このうち、流動資産については74,863百万円であり、前連結会計年度末比4,670百万円減少しています。これは、主に受取手形及び売掛金が8,186百万円増加した一方で、原材料及び貯蔵品が4,901百万円減少したこと、及び仕掛品が2,527百万円減少したこと、及び未収還付法人税等が1,901百万円減少したこと等によるものです。また、固定資産については110,086百万円であり、前連結会計年度末比4,025百万円減少しています。これは、主に有形固定資産が5,103百万円減少したこと等によるものです。

負債合計につきましては135,126百万円となり、前連結会計年度比1,828百万円減少しています。これは、主に支払手形及び買掛金が2,740百万円増加した一方で、その他流動負債が3,143百万円減少したこと、及び未払金が3,156百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計につきましては49,822百万円となり、前連結会計年度比6,867百万円減少しています。これは、主に四半期純損失8,453百万円計上されたこと等により、利益剰余金が8,908百万円減少したことによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は26.7%（対前連結会計年度比1.8ポイントの悪化）となり、1株当たり純資産額は217円06銭（前連結会計年度比25円28銭の減少）となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は3,554百万円(前年同四半期比683百万円減少)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,202百万円の増加となりました。これは税金等調整前四半期純損失が8,478百万円及び売上債権の増加が8,151百万円となった一方で、減価償却費が6,704百万円、たな卸資産の減少が8,430百万円であったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは6,620百万円の減少となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が4,792百万円及び子会社株式の取得による支出が1,967百万円であったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、482百万円の収入となりました。これは主として長期借入金の返済による支出が3,443百万円あった一方で、長期借入れによる収入が3,255百万円、及び短期借入れによる収入が961百万円であったこと等によるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却可能価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

##### 2. 法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算出方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### 完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

当第1四半期連結会計期間より、一部の国内連結子会社における受注制作ソフトウェアに係る収益の計上基準については、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を適用しております。これにより、当第1四半期連結会計期間に着手した請負契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる場合については工事進行基準を、その他の場合については工事完成基準を適用しております。

なお、この変更による損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,644	3,555
受取手形及び売掛金	48,320	40,133
商品及び製品	5,494	6,465
仕掛品	7,959	10,486
原材料及び貯蔵品	5,372	10,273
繰延税金資産	167	298
未収入金	3,457	3,345
未収還付法人税等	7	1,909
その他	555	3,211
貸倒引当金	△113	△142
流動資産合計	74,863	79,533
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,615	24,767
機械装置及び運搬具(純額)	36,825	39,776
土地	36,639	37,170
その他(純額)	4,526	4,995
有形固定資産合計	101,605	106,708
無形固定資産		
のれん	823	2
ソフトウェア	1,630	1,847
その他	111	88
無形固定資産合計	2,564	1,937
投資その他の資産		
投資有価証券	4,242	3,815
繰延税金資産	378	278
その他	1,637	1,703
貸倒引当金	△340	△330
投資その他の資産合計	5,917	5,466
固定資産合計	110,086	114,110
資産合計	184,949	193,644

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,532	27,792
短期借入金	29,117	28,101
1年内償還予定の社債	240	155
1年内返済予定の長期借入金	4,559	7,111
未払金	4,386	7,542
未払費用	8,219	7,649
未払法人税等	190	63
繰延税金負債	3	1
その他	2,977	6,121
流動負債合計	80,222	84,535
固定負債		
社債	410	305
長期借入金	39,515	37,126
退職給付引当金	12,942	13,573
役員退職慰労引当金	141	145
繰延税金負債	149	126
環境対策引当金	176	176
事業構造改善引当金	755	—
その他	817	967
固定負債合計	54,904	52,419
負債合計	135,126	136,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,528	16,528
資本剰余金	35,184	35,184
利益剰余金	△231	8,676
自己株式	△2	△1
株主資本合計	51,479	60,388
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	76	△30
繰延ヘッジ損益	△2,219	△4,915
為替換算調整勘定	△44	△407
評価・換算差額等合計	△2,186	△5,352
少数株主持分	530	1,654
純資産合計	49,822	56,690
負債純資産合計	184,949	193,644

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	133,389	85,381
売上原価	118,266	82,960
売上総利益	15,123	2,422
販売費及び一般管理費	9,615	8,161
営業利益又は営業損失(△)	5,508	△5,739
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	41	17
受取賃貸料	65	76
物品売却益	143	29
還付加算金	—	57
その他	89	75
営業外収益合計	348	266
営業外費用		
支払利息	705	622
持分法による投資損失	—	118
支払補償費	209	132
その他	209	90
営業外費用合計	1,123	961
経常利益又は経常損失(△)	4,733	△6,435
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	65
その他	14	0
特別利益合計	14	66
特別損失		
固定資産除却損	186	86
投資有価証券評価損	9	—
事業構造改善費用	—	2,018
その他	12	6
特別損失合計	207	2,110
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,541	△8,478
法人税、住民税及び事業税	1,889	67
法人税等調整額	△112	25
法人税等合計	1,777	92
少数株主利益又は少数株主損失(△)	187	△117
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,577	△8,453

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,541	△8,478
減価償却費	7,562	6,704
受取利息及び受取配当金	△51	△29
支払利息	705	622
為替差損益(△は益)	△30	△12
有形固定資産除却損	186	86
無形固定資産除却損	0	—
事業構造改善費用	—	2,018
投資有価証券評価損益(△は益)	9	—
売上債権の増減額(△は増加)	△11,528	△8,151
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,164	8,430
前渡金の増減額(△は増加)	△7	6
仕入債務の増減額(△は減少)	7,095	2,981
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△113	△632
未払費用の増減額(△は減少)	162	516
その他	1,808	559
小計	9,175	4,620
利息及び配当金の受取額	49	30
利息の支払額	△670	△598
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,566	2,151
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,988	6,202
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,426	△4,792
有形固定資産の売却による収入	60	5
無形固定資産の取得による支出	△459	△132
投資有価証券の取得による支出	△7	△6
子会社株式の取得による支出	—	△1,967
その他	44	272
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,786	△6,620
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,158	961
長期借入れによる収入	249	3,255
長期借入金の返済による支出	△1,996	△3,443
社債の発行による収入	250	270
社債の償還による支出	△105	△80
配当金の支払額	△908	△454
少数株主への配当金の支払額	△46	△15
その他	△11	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,409	482

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△229	89
現金及び現金同等物の期首残高	4,466	3,465
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,237	3,554

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

当連結グループはアルミニウム製品の専門メーカーとして、同一セグメントに属するアルミニウム圧延品等の製造、加工、販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店の売上高の合計が、連結売上高の10%未満のため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

海外売上高 (百万円)	連結売上高 (百万円)	海外売上高の連結売上 高に占める割合 (%)
19,378	133,389	14.5

- (注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。  
2 国又は地域における海外売上高が連結売上高の10%未満のため、国又は地域別の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高 (百万円)	連結売上高 (百万円)	海外売上高の連結売上 高に占める割合 (%)
11,552	85,381	13.5

- (注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。  
2 国又は地域における海外売上高が連結売上高の10%未満のため、国又は地域別の記載を省略しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

該当事項はありません。